

## 令和 8 年度 第 1 回 石狩市地域公共交通活性化協議会 議事録

- ・ 日時: 令和 8 年 6 月 24 日 (水) 10:00 から 10:40
- ・ 場所: 石狩市役所 401・402 会議室
- ・ 出席者: 佐々木大樹会長、糸尾博樹委員、熊谷貞治委員、竹内努委員、山田浩明委員、新井田崇委員、福井輝喜委員、伊藤光明委員、吉田卓己委員、深井正治委員、門間俊也委員、喜多美恵委員、高橋英雄委員、小島義広委員、高眞一委員、池田篤史委員、久保田貴浩委員
- ・ 事務局 交通政策課課長 佐々木拓哉、交通政策課主査 吉田有絵、交通政策課主任 氏家峻
- ・ 傍聴者 0 名

### 次第

1. 開 会
2. 報 告
  - (1) 地域公共交通計画の進捗状況について 資料 1
  - (2) 令和 7 年度収支決算報告及び監査報告について
  - (3) 令和 7 年度デマンド交通の運行実績等について 資料 2
  - (4) 庁舎周辺における交通結節点の構築について
3. 議 題
  - (1) 令和 8 年度事業予算 (案) について
  - (2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請について 資料 3
4. その他
5. 閉 会

===== 審議内容の記録 (審議経過、質疑、意見等) =====

※以下の質疑・意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

### 1. 開会

#### ○会長 (企画政策部長)

皆様、おはようございます。本日は本協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。この度、4 月の人事異動により企画政策部長を拝命いたしました。どうぞよろしく願いいたします。

昨年度は、市内 3 路線の廃止に伴う代替交通を構築し、本町花川線については昨年 12 月より、厚田花川線については本年 4 月よりスタートしております。現在までのところ大

きな混乱などもなく、円滑に運行できております。近隣自治体におきましても、本市同様に路線バスの廃止や短縮に伴う代替交通の構築を検討せざるを得ない状況の中、本市の代替交通が短期間かつ円滑に移行できたことは、本協議会の皆様をはじめとする関係者が一体となって地域の移動手段を確保するという認識を共有し、具体的な取り組みを進めてきた成果であると考えております。

地域公共交通の維持確保につきましては、依然として厳しい状況にありますが、国や他自治体の事例も参考にしつつ、本市の公共交通の将来的なリスクを想定し、持続可能な交通の仕組みについて引き続き検討を進めてまいりたいと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

## ●事務局

本日は1回目の協議会ということもあり、人事異動に伴い新たに委員となりました皆様をご紹介します。

- ・石狩湾新港管理組合 総務部参事 吉田様
- ・石狩市役所 維持管理課長 新井田様
- ・北海道開発局 札幌開発建設部 滝川道路事務所副所長 伊藤様
- ・北海道石狩振興局 地域創生部地域政策課長 喜多様

なお、本日欠席の委員につきましては、石田副会長、木村委員、渡部委員、秋田谷委員、桑山委員となっております。

議事の進行に先立ち、事前に配布いたしました資料の確認をさせていただきます。

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料1：地域公共交通計画の進捗状況および今後の予定について
- ・資料2：令和7年度デマンド交通の運行実績等について
- ・資料3：地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請について

不足している資料がありましたら事務局までお知らせください。

## 2. 報告

### (1) 地域公共交通計画の進捗状況について（資料1に基づき説明）

## ●事務局

本計画は「街の持続に向けた地域公共交通の実現」という基本理念のもと、4つの基本方針と6つの目標、8つの政策で構成されております。主な進捗として、本町花川線等のダイヤ見直し、市内交通事業者との「石狩湾新港地域公共交通サービス推進協議会（通称：ILOTT）」を通じたデマンド運行体制の構築、石狩病院等との結節点整備、市内デマンド交通を取りまとめた冊子の配布や意見交換会の開催などを実施いたしました。今後も全目標の達成に向け事業を進めてまいります。

(意見等なし)

(2) 令和7年度収支決算報告及び監査報告について(次第3ページに基づき説明)

●事務局

令和7年度の決算報告を行います。収入決算額は約3,205万円、支出決算額は約3,204万円となり、歳入歳出差引残額7,018円を令和8年度へ繰り越します。

○監事(竹内委員)

令和7年度の財産及び会計、ならびに業務執行の状況を監査した結果、適正に執行されていることを確認いたしました。

(意見等なし)

(3) 令和7年度デマンド交通の運行実績等について(資料2に基づき説明)

●事務局

市内デマンド、浜益デマンド、本町花川線、通勤デマンド等の利用状況をご報告いたします。中央バスの路線廃止等に伴い、登録者数・利用人数ともに増加傾向です。特に冬季間の利用増や、通勤需要への対応が特徴です。アンケート結果では、品質面は高評価ですが、予約の柔軟性については改善要望をいただいております。今後の検討課題としております。

○門間委員

何点か伺います。

1. 本町花川線の利用者は、当初の想定と比べて多いのでしょうか。
2. 今後、電話予約からスマホ・PC予約への誘導を図る考えはありますか。
3. 90代のスマホ利用率が急増している理由は何か。

●事務局

1. 移行前の中央バスの実績と比較すると約2割減ですが、開始以降は増加基調です。
2. 電話予約の集中により繋がりにくいという課題は認識しております。他自治体の事例も参考に、より円滑な予約システムのあり方を検討します。
3. ご高齢の方に代わり、ご家族が代理で予約操作をされているケースが考えられます。

○門間委員

約8割の移行は高い水準ですが、残りの2割の方や予約の利便性については、引き続き

丁寧な対応をお願いします。

(4) 庁舎周辺における交通結節点の構築について（次第6ページに基づき説明）

●事務局

現在、市役所周辺のバス停が5箇所点在し、乗り継ぎに時間を要しております。利用者の利便性向上に向け、バス停の集約や「まちなかふれあい拠点整備に係る基本構想」との連携を含め、結節点のあり方を検討してまいります。

（意見等なし）

3. 議題

(1) 令和8年度事業予算（案）について（次第7ページに基づき説明）

●事務局

収入の部につきましては、国からの補助金として5,452万1,000円を計上しております。令和7年度予算額から2,072万増となった要因といたしましては、フィーダー補助金の路線が今までは浜益デマンドが対象でしたが、北海道中央バス(株)様の路線バス廃止に伴い、新たに構築いたしました本町花川線及び厚田花川線がフィーダー補助の対象となりました。また、本格運行が開始となりました通勤デマンドも対象となったことで、距離数が増えたこと、厚田花川線の運行に伴いマイクロバスの購入についても補助対象となることから増額しております。

また、石狩市からの負担金として1万円を計上し、そのほか雑収入982円、繰越金7,018円の合計5,453万9,000円を計上しております。

支出の部につきましては、補助金として5,452万1,000円、振込手数料など事務費として1万8千円、の合計5,453万9,000円を計上しております。

以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

（意見等なし）

○会長（企画政策部長）

原案どおり承認いたします。

(2) 地域公共交通確保維持改善事業に係る計画認定申請について（資料3に基づき説明）

●事務局

資料3「そもそもフィーダー補助とは？」をご覧ください。

フィーダー（支線）系統補助についてご説明します。地域の実情に応じた最適な生活交

通ネットワークを確保・維持することを目的としており、地域間交通ネットワークを形成する「幹線系統」を補完する系統の運行を支援するものです。

本市における状況を申し上げますと、従来は北海道中央バス様の厚田線が幹線系統でしたが、廃線に伴い、令和8年4月1日より花畔から手稲駅北口を結ぶ系統が新たな幹線系統に変更となりました。

この幹線系統を補完する通勤デマンドおよび本町花川線と厚田花川線につきましては、フィーダー系統として運行経費の補助対象となります。

次に、補助対象経費についてです。図をご覧ください。全体の経常費用から経常収益を差し引いた、図中の緑色の部分が対象となります。こちらの補助率は2分の1となっております。

以上が、フィーダー系統補助の概要でございます。

補助申請にあたり、当協議会において承認をいただきまして、「令和9補助年度申請書」を国土交通省に提出するものであります。

申請案については、令和8年10月から令和9年9月の運行予定などをまとめたものになります。

この申請は6月30日までに国土交通省に提出する予定であることを申し添えます。

2ページ目は、国土交通省に提出する申請書の鑑となっております。

3ページ目は、計画の内容でございます。昨年度からの変更点についてご説明いたします。

1の地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性です。

こちらは本市の公共交通の現状、高齢化の事情を述べ、フィーダー系統である3路線の目的を記載しております。

2の地域公共交通確保維持改善事業に係る定量的な目標・効果の（1）事業の目標でございます。定量的な目標値といたしまして、昨年度同様、利用者数及び収支率とさせていただきます。

令和9補助年度の目標利用者数を82,200人とさせていただいております。

この数字は、令和7年度から令和8年5月実績値を参考に算出しております。

収支率につきましても同様に現在までの実績値を参考に算出しております。

次に3の2の目標を達成するために行う事業及びその実施主体です。

今年度より実施主体が石狩市から石狩湾新港地域公共交通サービス推進協議会（通称ILOTT）が主体となって進めて参ります。

引き続き利用実績を分析し、必要に応じて見直しを図ってまいりたいと考えております。

項目の4は運行系統の概要及び運送予定者となりまして、後ほど7ページ目の「表1」で説明をさせていただきます。

項目5は3路線の契約金額の総額から運賃収入を差し引いた運行経費のみを抽出し記載

をさせていただいております。

項目 6 以降につきまして変更はございません。

次に 7 ページ「表 1」をご覧ください。

運行系統は、本町花川線、厚田花川線、通勤デマンドの 3 系統としております。

令和 8 年 10 月から令和 9 年 9 月までの 1 年間分運行日数や運行回数を算出してございます。

次のページをご覧ください。表 5 でございます。

補助事業を実施する地域の概要として、令和 2 年の国勢調査の数字をベースに記載を行っております。

説明は以上でございます。

以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(資料 3 の計画内容の記載で、年度や期間の表記について指摘あり)

#### ●事務局

適正な内容に修正のうえ、国土交通省へ提出させていただきます。

#### ○会長（企画政策部長）

修正を前提に、原案通り承認いたします。

#### 4. その他

##### ●事務局

次回の交通活性化協議会につきましては、浜益滝川線及びスクールバス混乗の自家用有償旅客運送者登録の有効期限が 9 月末のため、8 月から 9 月頃に行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

#### 5. 閉会

##### ●事務局

これにて閉会いたします。ありがとうございました。

令和 8 年 6 月 25 日 議事録確定

石狩市地域公共交通活性化協議会

会長 佐々木 大樹